

マディソン・シティ・スクール
2020年秋期再開計画の追加事項
9月1日更新

マディソン・シティ・スクール
段階的再開

保健、安全、および予防のガイドライン

シナリオ - 生徒またはスタッフが

新型コロナウイルス陽性、もしくは感染が疑われる症状で体調不良

注意：濃厚接触とは、生徒/スタッフが6フィート（約1.8m）以内の距離に15分以上いること、と定義されます。（6/15ルール）

「6フィート 15分」のシナリオの判断に資するため、バスと教室の座席表が養護教諭が濃厚接触を判断するのに役立てられます。

学校の役割: 届出疾患規則に従い、ヘルスケアプロバイダー、養護教諭もしくは校長は、新型コロナウイルス陽性もしくは陽性が疑われるケースについて、オンラインのADPHレポートカードを使用し保健当局に直ちに報告する必要があります。

ステップ 1:

隔離

陽性もしくは陽性が疑われる生徒/スタッフは、予め指定されている新型コロナウイルス室の中で他者から隔離、もしくは帰宅させる。

陽性の場合もしくは検査結果陽性について生徒/スタッフから電話を受けた場合

生徒/スタッフは 10日間隔離しなければならず、1日間回復日として 発熱がない状態、もしくは解熱剤を服用して 過ごさなければならない。

症状を示している場合

体調不良の生徒/スタッフは、新型コロナウイルスもしくはその他の非感染性疾患の罹患の有無を判断するために、ヘルスケアプロバイダーに相談することが推奨される。

疾病管理予防センター (CDC) が特定している新型コロナウイルスの主な症状

息切れ、呼吸困難	咳	嗅覚や味覚の損失
----------	---	----------

疾病管理予防センター (CDC) が特定している新型コロナウイルスの軽微な症状

発熱（測定したもしくは主観的な）	寒気や悪寒	筋肉痛
頭痛	のどの痛み	吐き気または嘔吐
下痢	倦怠感	鼻詰まりや鼻水

主な症状が 1つ、軽微な症状が 2つ、もしくは新型コロナウイルス検査結果が陽性の場合

ステップ 2：症状を示すスタッフや生徒との濃厚接触者を特定する

- 養護教諭が陽性もしくは症状を示す生徒やスタッフの濃厚接触者の判断をサポートする。
- 濃厚接触者は、新型コロナウイルス感染が確認されるまで、またはその他の診断が確認されるまで、隔離されて帰宅させられる。通学や業務を再開するために、ヘルスケアプロバイダーによる許可が学校から求められる場合がある。
- 新型コロナウイルス感染が確認された場合、養護教諭が濃厚接触者に（6/15ルール、マスク着用の有無）、接触から14日間自己隔離し、密に健康状態をモニターするよう、連絡する。
- 養護教諭は、アラバマ州公衆衛生局の担当者から連絡があるかもしれない旨を連絡する。
- CDCの指導に従って、徹底的に清掃と消毒を行う。

ステップ3: アラバマ州公衆衛生局 (ADPH) への報告

- 養護教諭は、ADPHのCOVID-19オンラインレポートカードを使って、陽性もしくは感染が疑われるケースについてADPHに報告しなければならない。
- ADPHのCOVID-19オンラインレポートカードには、該当クラスの生徒のリスト、教師/スタッフの氏名、生徒の保護者と電話番号などの情報が必要となる。

ステップ4: 父兄/保護者および学校スタッフと学校のコミュニケーション

- 学校は、既存の学校のプロセスを使って感染が発生したことを父兄/保護者に通知する。機密性とプライバシーを保護しなければならない。
- 以下に当てはまる生徒について、父兄/保護者から養護教諭ではない学校スタッフに連絡があった場合：
 - 新型コロナウイルス陽性
 - 新型コロナウイルス検査進行中（症候の有無にかかわらず）
 - 新型コロナウイルス接触もしくはその疑いのために自宅で隔離中
 - 新型コロナウイルスの主な症状が現れており在宅中
- このスタッフは、直ちに養護教諭と学校管理者に連絡すること。
- 生徒が体調不良、もしくは新型コロナウイルス、インフルエンザ、その他感染症の兆候を示している場合、父兄/保護者に連絡する。学校が父兄/保護者に連絡が取れない場合、入学手続き中に登録された他の連絡先に通知する。生徒の連絡先情報が最新で正しいことを確認してください。
- 隔離中の生徒と同じクラスの生徒の父兄/保護者にはこの状況について連絡するが、隔離中の生徒のプライバシーは保護する。以下参考情報。特定の生徒を隔離する必要がある場合、父兄/保護者に連絡する。
- 学校で新型コロナウイルス陽性のケースが発生した場合、その学校の生徒のすべての父兄/保護者に通知するが、プライバシーは保護される。

ステップ5: クラスの清掃と殺菌

- 毎日の清掃作業に加え、学校は毎日複数回消毒および殺菌するために、積極的な措置を講じる。
- MCS は CDC および EPA の承認を受けた製品を使用し、すべての化学物質のマテリアル安全データを維持する。
- MCS は静水圧式噴霧デバイスを購入しており、これをすべての学校に配置予定。
- 保護チームに加えて、MCS では専門消毒チームが学校の殺菌を監督予定。さらに、必要に応じて消毒と殺菌をサポートしてもらう国内企業と契約を締結している。

アラバマ州公衆衛生局の役割

公衆衛生局は接触者の調査と追跡を実施する。アラバマ州公衆衛生局と CDC のガイドラインに従って対策を推奨する。

ADPH によるケースの調査

公衆衛生局の担当者が患者と協力し、他人に感染させる可能性がある時期に濃厚接触した人を思い出すようサポートする。

ADPH による接触者の追跡

公衆衛生局の担当者は、接触した人物（接触者）にウイルスに接触した可能性について、できる限り慎重に通知するが、この際感染患者の身元は明かさない。



生徒氏名： _____

日にち： ____/____/____



COVID-19 父兄チェックリスト

- 以下の新型コロナウイルスの症状が1つ以上あることを理由に、子供が帰宅させられている： 息切れや息苦しき、咳、味覚や嗅覚の喪失

最初の症状が現れた日にち： ____/____/____

- ✓ 医学的評価のために、生徒のヘルスケアプロバイダー／医師に連絡する。
- ✓ 生徒が新型コロナウイルスと診断された、または新型コロナウイルス検査結果が陽性だった場合、父兄／保護者が以下の3つの質問すべてに**YES**と回答できる場合のみ、生徒は登校を再開することができる：
 - 最初に症状が現れてから10日間以上経過しているか？
 - 発熱から（解熱剤を使わずに）24時間以上経過しているか？
 - 咳や息切れなどの症状は改善してるか？
- ✓ 新型コロナウイルスに類似した症状の説明となる、別の診断を生徒が受けている場合、ヘルスケアプロバイダー／医師の助言および学校規則に従って、生徒は登校を再開することができる。
- ✓ 生徒の新型コロナウイルス検査結果が陰性だった場合、解熱剤の投与有無にかかわらず発熱がなく、24時間にわたって体調に問題がない場合、最初の症状が現れてから10日間以上経過していれば、生徒は登校を再開することができる。
- ✓ その結果を養護教諭に報告し、その電話の結果を生徒のヘルスケアプロバイダー／医師に報告する。

-
- 生徒が、新型コロナウイルス感染の診断を受けた、もしくは感染が疑われる人物と過去14日間で濃厚接触（6フィート（約1.8m）以内を15分間以上）している可能性がある

最後に濃厚接触した日： ____/____/____

- ✓ 生徒が新型コロナウイルス感染が診断されている人物と濃厚接触していると判断された場合、最後に濃厚接触が判明している日から14日間は登校を控える必要がある。
- ✓ この期間中に生徒に症状が現れた場合、ヘルスケアプロバイダー／医師から診察を受け、その結果と医学的評価の結果を養護教諭に報告する。生徒の登校再開のガイダンスについては上のセクションを参照。
- ✓ この期間中に生徒の検査結果が陽性となり、引き続き無症状である場合、陽性結果から10日間以上経過後、この生徒は登校を再開することができる。
- ✓ この期間中に生徒の検査結果が陰性となった場合、14日間の隔離を完全に実施しなければならない。
- ✓ 新型コロナウイルスのような症状を示して帰宅した生徒の濃厚接触者だと判断された生徒はすべて、その体調不良の生徒の新型コロナウイルスのような症状がヘルスケアプロバイダーによって（新型コロナウイルスではない）別の原因だと診断され次第、直ちに登校を再開することができます。

2020年8月27日改版

マディソン・シティ・スクール 段階的再開

登校ベースの学習オプション

登校ベースの指導モデルを選択した生徒は、9月8日に開始される段階的再開で登校を再開することができる。

幼稚園から12年生までの全生徒に、対面指導ではマスクの着用が求められる。

生徒はAとBのローテーションで登校を再開し、その後全面的な再開に移行する。

AとBのグループは、各校（下記）がアルファベットごとにグループ分けをする。

バーチャル学習アカデミーを選択した生徒は、バーチャルの学習を継続する。

現時点ではエクспанデッド・デイ・サービスは（午前・午後とも）実施しない。

対面学習初日は、幼稚園と保育園の園児を建物まで徒歩で見送りすることが認められる。（成人1名に限定し、兄弟姉妹は同伴しないでください。）

再開の各段階の詳細は以下の通り。

登校ベースの生徒の段階的再開

登校ベースの学習オプションを選択した生徒は、段階的再開で登校を再開する。

小学校の段階的再開

- A/B ローテーション 9月8～11日
 - グループA - 9月8日および10日
 - グループB - 9月9日および11日
- 登校ベースの指導モデルを選択した小学生は全員、9月14日月曜日に週5日の対面始動を再開する。
 - 生徒は対面での学習を継続する。

中学校の段階的再開

- A/B ローテーション 9月14日～25日
 - グループA - 月曜および木曜（9月14日、17日、21日、24日、）
 - グループB - 火曜および金曜（9月15日、18日、22日、25日）
 - 水曜は全生徒がバーチャルで学習する（9月16日および23日）
- 登校ベースの指導モデルを選択した中学生は全員、9月28日月曜日に週5日の対面指導を再開する。
 - 生徒は毎日対面学習を継続する。

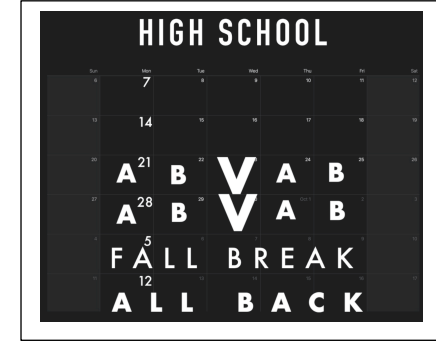
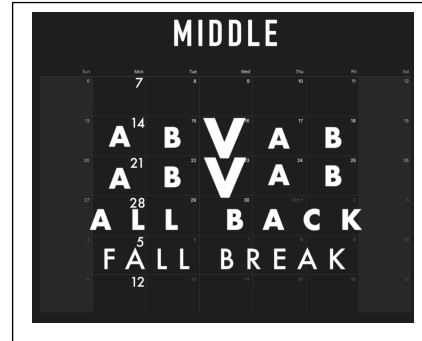
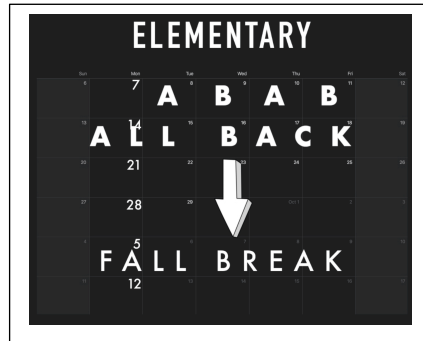
高等学校の段階的再開

- A/B ローテーション 9月21日～10月2日
 - グループA - 月曜および木曜（9月21日、24日、28日、10月1日）
 - グループB - 火曜および金曜（9月22日、25日、29日、10月2日）
 - 水曜は全生徒がバーチャルで学習する（9月23日および30日）
- 登校ベースの指導モデルを選択した高校生は全員、10月12日月曜日に週5日の対面始動を再開します。
 - 生徒は毎日対面学習を継続する。

A/B のローテーション中、対面学習ではない日については、生徒は時間差で指導に参加することが求められる。対面学習ではない日については、時間差指導のための課題が Schoology を介して提供される。

登校ベースの学習オプション

登校ベースの生徒の段階的再開（続き）



登校ベースの学習オプションまたはバーチャル学習アカデミーオプションの選択

- 登校ベースまたはバーチャルへ変更することは現在可能ですか？
 - ご家族は、学校再開の前にバーチャル・ラーニング・アカデミー同意書を記入し、生徒がバーチャルもしくは登校ベースで学習することを希望している旨を学区に連絡するようお願いいたします。
 - 出席名簿は登校ベースまたはバーチャルの学年開始時のリクエストに基づいて作成されています。登校ベースまたはバーチャルへの変更リクエストを校長宛てに E メールで送信してください。ウェイティングリストに追加されます。
 - ついては現在登校ベースまたはバーチャルへの変更を希望する生徒はウェイティングリストに追加されます。
 - ウェイティングリストの生徒は、学校のスケジュールに空きがあれば登校ベースまたはバーチャルへ変更されます。
 - 校長がスケジュールの空きがあることを確認した後、生徒は最も早く対面指導の初日に登校ベースまたはバーチャルへ移行することができます。この変更について父兄/保護者に校長から連絡がいきます。
 - 学校のスケジュールに空きがない場合、空きが発生した場合に備えて生徒はウェイティングリスト上に残されます。
 - IEP、504、または I-ELP の生徒の登校ベースまたはバーチャルオプションへの変更リクエストは、校長宛てに E メールで送信してください。生徒の IEP、I-ELP、言語発達レベルおよび個別のニーズを考慮して、ケースバイケースで検討されます。
 - バーチャルと登校ベース学習間の移動が原因で、追加のバーチャルまたは登校ベースのクラスのニーズに対応するために、指導課題が変更される場合があります。
 - 最初の 9 週間の評価期間末に、バーチャル学習アカデミーオプションを選択している小学生 (K~5) は、バーチャルの継続、登校ベースの学習オプションを通じた登校再開のどちらも選択することができます。

- 労働の日以降、バーチャル学習アカデミーオプションを選択している小学生（K～5）には、バーチャルの継続もしくは登校ベースへの変更希望を示す希望用紙に記入する機会があります。この希望用紙は労働の日以降に公開されます。

登校ベースの学習オプション

登校ベースの生徒の段階的再開（続き）

- 秋学期末に、バーチャル学習アカデミーオプションを選択している中学生（6～12）は、バーチャルの継続もしくは登校ベースの学習オプションで登校を再開することを選択することができます。
 - 秋学期末の前に、バーチャル学習アカデミーオプションの中学生（6～12）には、バーチャルの継続もしくは登校ベースへの変更希望を示す希望用紙に記入する機会があります。この希望用紙は最初の学期末に公開されます。

混合型指導モデル

- **混合型登校ベース学習モデル**は A/B ローテーションで構成されます。
 - A/B ローテーションでは、生徒は 2 日間対面学習に参加し、3 日間バーチャルで学習します（小学生は週 4 日に戻るため非対象）。
 - A/B ローテーションは、名字のアルファベット順に計画されます。
 - 各校が A/B ローテーションのアルファベット区分を決定します。
 - **兄弟姉妹に割り当てられたローテーションと不都合生じた場合は、その生徒は年齢が上の兄弟姉妹に割り当てられた日に登校してください。**
 - 最初のクラス Pre-K - **Group A** は A～L、**Group B** は M～Z
 - Columbia - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - Heritage - **Group A** は A～L、**Group B** は M～Z
 - Horizon - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - Madison - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - Mill Creek - **Group A** は A～M、**Group B** は N～Z
 - Rainbow - **Group A** は A～H、**Group B** は I～Z
 - West Madison - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - Discovery - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - Liberty - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - Bob Jones - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
 - James Clemens - **Group A** は A～K、**Group B** は L～Z
- 対面指導の日は、平常の出席手順が生徒に適用されます。
- **A/B** のローテーション中、対面学習ではない日については、生徒は時間差で指導に参加することが求められます。対面学習ではない日については、時間差指導用の課題が **Schoology** を介して提供されます。

- バーチャル学習の出席手順が引き続き適用されます。

登校ベースの学習オプション

登校ベースの指導モデル

説明

- 教師が各自作成したコンテンツ、学年レベル／教科の教科書、およびオンラインカリキュラムのレポジトリを使用してクラスが構成されます。
- 小学校では、教師と生徒が **Wonders**、**EnVision**、**SchoolsPLP**、**iReady**、**RazPlus ELL** を使用することができます。今学年の残り期間中、バーチャル学習が必要になれば **Schoology** クラスの使用を継続します。
- 中学校では、教師はカスタムコンテンツ、教科書、**Edgenuity** や **SchoolsPLP** などのリソース、さらに **ACCESS** フランチャイズモデルのコンテンツを利用して、日々／毎週の計画を作成することができます。今学年の残り期間中、バーチャル学習が必要になれば **Schoology** クラスの使用を継続します。

指導の枠組み

- 小学校の教師は、電子コミュニケーションを使用して、連絡事項を毎週連絡します。
- 中学校の教師は、さまざまな電子コミュニケーションの手段を使用して、生徒、父兄、保護者と情報を共有します。
- 教師が指導するクラス（クラス全体および小グループ）、個別のオンライン練習、課題、評価、およびプロジェクトで学習が行われます。一部の課題／プロジェクトは自宅で実施することができます。
- 全生徒に細分化を行うための計画の一環として、グループ全体および小グループの指導が毎週実施されることが予想されます。個人指導は必要に応じて行われます。
 - 小グループの指導では、プレキシガラス製シールドが取り付けられた机の間に適切な距離を保っていれば、机同士を近い位置に移動することができます。
 - センターを使用する場合、生徒は各自の机で作業を行ってください。教材や文具を共有しないでください。
 - 小さな共同グループに分ける場合、プレキシガラス製シールドが取り付けられた机の間に適切な距離を保っていれば、机同士を近い位置に移動することができます。
- 通常の成績評価手順（調整後の成績、**GPA**、クラスランクを反映する）が順守されます
- プロGRESSレポートとレポートカードがスケジュールに従って発行されます。
- 教師は生徒の個別計画への調整について記録します。
- 補足英語学習者（**EL**）レッスンは、該当する **EL** および移民生徒に対して、小グループの抜きだしレッスン（小学生）もしくは **EL** エレクティブおよび共同指導モデルで実施されます。

特殊教育サービス

- 各生徒の **IEP** 目標に基づいた指導が行われます。
- 通学送迎
 - **IEP** を通して関連サービスとして通学送迎サービスを受けている生徒は、継続してこのサービスを利用することができます。
 - **MCS** が規定する健康・安全のガイドラインとプロトコルに従います。
- 授業日は生徒の **IEP** 目標に基づいて関連サービスが提供されます。

- 登校初日に向けた子供たちの準備。
 - 自宅で長時間にわたってマスクを着用する練習をしてください。
 - マスク着用、ソーシャルディスタンスや衛生に関する社会的な話をしたり、本を読み聞かせてください。
 - 幼い子供は昼食の食品や軽食を一人で開けられるようにし、靴紐を結べなければ、靴紐のない靴が推奨されます。
 - 食べ物やその他教材を共有しないように子供に再度説明してください。

登校ベースの学習オプション

登校ベースの指導モデル（続き）

EL サービス

- 指導
 - 中核的なプログラムとコンテンツの指導は、一般科目の教室で行われ、各生徒の I-ELP と言語発達のレベルに応じて適切な調整が行われます。補修 EL サービスが I-ELP 目標に応じて EL 担当教師によって実施され、これは小グループの抜きだしレッスン（小学生）もしくは EL エレクティブおよび共同指導モデルで実施されます（中学校）。
 - EL 担当教師が定期的に電話会議や E メールを通して連絡して家族と連携します。
 - EL および一般科目担当教師が、EL 生徒の成長を継続的にモニターし、必要に応じてサポートを調整します。
 - EL 担当教師は、I-ELP の EL 生徒に対する手順やサービス提供に関する国および州のガイダンスに従います。
 - EL 担当教師は、担当 EL ケースロードの全生徒に実施される対面クラスとバーチャルアカデミー EL 補習クラスの両方をサポートします。
- 安全性
 - EL 生徒を担当する EL 担当教師と学校スタッフは、教育を受けた学区スタッフから安全性と PPE に関するトレーニングを受講します。
 - EL 担当教師は EL レッスン中、フェイスマスクを着用します。
 - 生徒は建物内では既存ガイドラインに従ってマスクを着用します。子供たち一人一人に対してマスクを準備するよう、ご家族のご協力をお願いいたします。
 - 既存ガイドラインに基づいて、可能な限りソーシャルディスタンスプロトコルに従います。EL 担当教師は全担当クラスで座席表を使用します。
 - 生徒グループの合間に消毒が実施されます。生徒間で教材や文具は共有しません。
 - 適切な距離を保つため、対面 EL 補習クラスで EL 担当教師が必要に応じて、メディアセンターなどの他の大きなスペースを使用することがあります。必要に応じてプレキシガラスが提供される場合があります。
- リソース
 - 補足の EL 父兄向けリソースが以下の学区 [ウェブサイト](#) にあります。EL 父兄は個別サポートについて [各校の EL 担当教師に連絡することが](#) 推奨されます。
 - 教師用に透明フェイスマスクが購入されており、必要に応じて利用されます。
 - 生徒にはフェイスマスク休憩があります。

ギフトサービス

- 指導
 - 小学校と中学校のギフトクラスは、コンセプトベースのカリキュラムで、平常通り対面で再開します。
 - ギフトクラスは複数のクラスに所属する生徒で構成されます。

- ギフテッド専門担当者が区別化ニーズについてクラス教師と相談します。
- 安全性
 - ギフテッド専門担当者はギフテッドクラス中フェイスマスクを着用し、さらにフェイスシールドを着用する可能性があります。
 - 生徒はギフテッドクラス中はフェイスマスクを着用します。
 - 既存ガイドラインに基づいて、適宜ソーシャルディスタンスプロトコルに従います。ギフテッド専門担当者は全担当クラスに座席表を使用します。

小学校高学年のクラス

- コア教科の担当教師（リーディング、算数、科学、社会）が複数人いる小学校高学年の生徒は、クラスのローテーションを行いません。教師がクラス間をローテーションします。AARTに登録している5年生の生徒はこの例外で、これらの生徒は算数のクラスではAARTクラスへローテーションします。

マスク休憩

- 一日を通してマスク休憩があります。

登校ベースの学習オプション

登校ベースの指導モデル（続き）

読書と休憩の時間

- 現在、小学校低学年の生徒には読書と休憩の時間があります。
 - 休憩マットは不要です。
 - 席に残って読書したり休憩したりすることができます。

中学校のローテーションスケジュール

- 登校ベースとバーチャルクラスの両方を受け持つ教師の人数を考慮して、現時点では中学校ではローテーションスケジュールを実施しません。

共用教材

- パソコンや教科書といった教材を共有する必要がある場合、生徒は教材を使用する前後に手を洗う、もしくはハンドサニタイザーを使用する必要があります。
 - パソコンなどの教材は、使用の合間に消毒されます。
- 食品やえんぴつのような文房具は共有できません。

指導用テクノロジー

- マディソン・シティ・スクール発行のデバイスをもっている生徒は、教師のリクエストに応じて授業日にこのデバイスをもってきてください。
 - 毎晩デバイスを充電するように生徒に促してください。
 - MCSは生徒がアクセスできるように追加のデバイスを購入しています。
- マディソン・シティ・スクールからデバイスを発行されていない生徒は、個人所有のデバイスを毎日持ち込むことが認められます。
 - デバイスをもつてこなくても、生徒が罰せられることはありません。自宅からデバイスをもつてこれない生徒に対しては、教師の方は紙とえんぴつのオプションや、場合によっては適切な消毒を挟んだデバイスのローテーションなど、別の計画を立ててください。

対面指導の日は、平常の出席手順が生徒に適用されます。新型コロナウイルスと無関係の欠席については、生徒行動規則に従います。

教師と生徒は保健、安全、および予防のガイドラインに従います（上記参照）。

デスクシールドが取り付けられた机に着席している場合、生徒は同じ方向を向いた席につきます。デスクシールドが取り付けられた机に着席している場合、生徒間に適切な距離が維持されます。

教師は最新版の座席表を維持してください。

新型コロナウイルスで療養中もしくはその接触が原因で隔離中の生徒については、下記のハイブリッド指導モデル情報を参照してください。

中学校と高等学校のスクールバンドやコーラスクラスに関する情報は、近日中に公表される予定です。

ハイブリッド指導モデル

- 新型コロナウイルスもしくはその接触が原因で隔離中であるために長期間欠席している生徒については、ハイブリッド指導モデルを採用してください。
- 教師はオンラインカリキュラムおよび／もしくはその他リソースを利用して、州供給の LMS、Schoology を介して課題を出します。
 - 教師によるライブレッスンは実施されません。
- ハイブリッド指導モデルはフレキシブルに対応し、新型コロナウイルス感染もしくはその接触が原因で隔離する必要がある、一時的に登校ベースの指導モデルを利用していない生徒のニーズを満足します。

登校ベースの学習オプション

ハイブリッド指導モデル(続き)

- 新型コロナウイルスで 14 日間（暦日で）欠席している場合、生徒は 2 週間以内に課題やテストなどを完了する必要があります。
 - 新型コロナウイルスが原因で生徒が長期間欠席している場合、教師が生徒をサポートします。
- 無症状および／もしくは新型コロナウイルス接触のために隔離中である場合、生徒は平常通り課題を行ってください。
- 新型コロナウイルスとは無関係の正当な欠席については、生徒行動規則に従います。
- 無症状もしくは新型コロナウイルス接触が原因で隔離中の教師は、生徒の指導を継続してください。
 - 生徒とのライブミーティングを開催し、引き続き課題を出します。
 - 生徒は代理教員と教室に行きます。
 - 懸念がある場合は、教師は校長および人員コーディネーターと相談してください。
- 新型コロナウイルスで 14 日間以上病欠している教師については、担当クラスに代理教員が割り当てられます。
 - 教師の方は、欠勤を病欠とする必要がありますが、代理教員が進行することになる授業を平常通り準備してください。
 - その教師が授業計画を作成することができない場合
 - 学校の駐在代理教員が、該当学年／コンテンツ分野の他の教師に連絡し、適切な指導教材を提供します。
 - 新型コロナウイルス接触が原因で欠席中の生徒には、学校の駐在代理教員もしくは学年／コンテンツの同僚が、課題を Schoology にアップロードします。

小学校の特殊分野

アート / 音楽 / スペイン語

- アート、音楽、およびスペイン語クラスは、録音レッスンとして実施されます。
 - これら科目の教師が毎週訪問するクラスと学校の数を考慮して、教師が物理的に生徒と一緒に教室に行くことはありません。

- これらの授業中、担任教師が生徒と一緒に教室に滞在します。

小学校のカウンセリング授業

- カウンセリング授業のグループ全体授業は、録音レッスンとして実施されます。
- 小学校のカウンセラーは、個人および／もしくは小グループのニーズに応じて対面で対応します。

小学校 STEAM

- 小学校の STEAM 授業は、平常通り対面で再開します。

体育 (PE)

- 生徒は平常通り PE に参加します。
- 可能な限りソーシャルディスタンスと器具の消毒を実施します。
- PE 中、生徒は器具を使用する前後に、手を洗うか、もしくはハンドサニタイザーを使用してください。
- 屋内 PE 中、生徒は耐久可能な限りマスクを着用します。
- 屋外 PE 中、ソーシャルディスタンスが維持されていれば生徒はマスクを外すことが認められます。
- 小学校では、小学校の PE 教師による週 1 回のバーチャル PE が引き続き実施されます。

登校ベースの学習オプション

休憩

- PreK～5 年生までの生徒は毎日休憩に参加します。
 - 可能な限りソーシャルディスタンスを維持することができる休憩手順を学校が策定します。
- 生徒は休憩の前後に手を洗うか、もしくはハンドサニタイザーを使用します。
- 屋外休憩中、ソーシャルディスタンスが維持されていれば生徒はマスクを外すことが認められます。

メディアセンター

- メディアセンターは開館しており、生徒は本を借りることができます。
 - メディアセンターへ本が返却されたら、別の生徒に同じ本を貸し出すまでに、その本を 4 日間にわたって流通から外しておいてください。
 - 生徒は本を選ぶ前に、手を洗うか、もしくはハンドサニタイザーを使用してください。
 - 学校は、生徒がソーシャルディスタンスを保ちながら本を借りるための計画を作成してください。
 - 例
 - 生徒は Atrium からオンラインで本を借りることができ、予約本を教室に配達、もしくはメディアセンターでピックアップすることを可能にする。
 - 生徒が借りられるようにメディア専門員が本を選択して教室に配達する。

教室の本棚

- 教室の本棚は教師の判断で使用することができます。
 - 教室の本棚から本が貸し出された場合、別の生徒に同じ本を貸し出すまでに、その本を 4 日間にわたって流通から外しておいてください。

- 生徒は本を選ぶ前に、手を洗うか、もしくはハンドサニタイザーを使用してください。

クラブとアクティビティ

- K~12 課外活動
 - 通常放課後に集まる K~12 課外活動は、放課後の実施が認められます。
 - 可能な場合、課外活動ではバーチャルで集まることが推奨されます。
 - この期間中、生徒はソーシャルディスタンスを保ってください。
 - 屋内ではマスクを着用してください。

バーチャル学習アカデミーオプション

バーチャル学習アカデミー手順

- 少なくとも最初の 9 週間 (K~5)、および学年の最初の学期 (6~12) をバーチャルで学習することを選択した生徒は、学区のウェブサイトにあるマディソン・シティ・スクール再エントリー計画 25~37 ページに記載されているバーチャル学習手順に従います。